

ネクストジェン

BYOD対応VoIPクラウドサービス「U<sup>3</sup> Voice」

# スマホ業務利用の鍵は通話コスト低減にあり 選べる3タイプで中堅中小のBYODを支援

アプリ活用の利便性に注目が集まるスマートフォンだが、実は業務利用における最大の用途は社員同士の通話だ。ネクストジェンは、その通話料金を低減させるのに貢献するVoIPクラウドサービス「U<sup>3</sup> Voice(ユーキューブボイス)」の提供を開始した。通信系ディーラーと手を携えて中堅・中小企業のBYODを支援する。

スマートフォンの端末調達コストと通信コストを削減できることで注目を集めているBYOD。それに加えて、通話料金の劇的な低減を図ることによってBYOD促進を支援しようとしているのが、「U<sup>3</sup> Voice(ユーキューブボイス)」の提供を開始したネクストジェンだ。

スマホを利用するうえで大きな負担となるのが社員同士の通話だ。U<sup>3</sup> Voiceは、まさにこの課題を解決するためのソリューションである。iOS/Androidに対応したVoIPアプリをインストールし、050番号によるIP電話の通話が行える。社員間の通話料金を無料化し、さらに、提携IP電話事業者を介して、取引先や顧客とも安値な通話が可能になる。

U<sup>3</sup> Voiceには、「ベーシック」「オフィス」「クラウドPBX」の3タイプが用意されている。ベーシックタイプは、スマホ同士の通話を無料化し、外線発信も050番号によって安価な料金で行える。

スマホの通話料金低減にフォーカスしたシンプルなサービスだ。さらに、業務用の通話をU<sup>3</sup> Voiceで行うことで、手間をかけずに通話料金の公私分計が行えるため、この点でもBYODの導入が容易になる。

## ビジネスホンとも連携 通信系ディーラーの新商材に

最も注目したいのがオフィスタイプだ。これは、社内のビジネスホンとスマホとの間の通話を無料にするもの(図表)。導入に際してゲートウェイ機器の設置は不要で、既存のビジネスホン主装置と連携し、社内の固定電話との内線通話が可能になる。対応する主装置はサクサ製を中心に多数の機種をカバー。ビジネスホンやPBXを扱う通信系ディーラーにとって中堅・中小企業に対してスマホの業務活用を働きかけるための格好の商材になる。

クラウドPBXタイプは、主装置の機



ネクストジェン  
事業戦略室室長  
クラウドサービス事業本部  
本部長  
牧野俊雄氏

能をクラウドサービスで提供するものだ。パーク保留や転送などPBXの代表的な機能を備えている。

ネクストジェンの試算によれば、20台のスマホを社員に貸与している企業がクラウドPBXタイプを利用した場合、BYODによる端末調達/通信費の削減と、通話料の無料化、クラウドPBXによる設備費等の削減により、5年間で1000万円ほどのコストカットも可能という。ネクストジェン事業戦略室室長/クラウドサービス事業本部本部長の牧野俊雄氏は、「まず、ベーシックを利用して通話コストの低減効果を実感してもらったあとで、オフィスタイプによって社内との無料通話のメリットも享受してもらえればと思っています。さらに、PBXが不要と感じればクラウドPBXタイプへと進んでいただくこともできます」と導入シナリオを提示する。

段階的に利用範囲を広げ、その都度導入メリットを積み上げていけるのも、U<sup>3</sup> Voiceの特徴。こうした道筋が用意されていることも、BYOD推進企業の大きな助けとなりそうだ。

お問い合わせ先

ネクストジェン  
事業戦略室

TEL : 03-3234-6855

URL : <http://www.nextgen.co.jp/solution/cloud/u3/>

図表 U<sup>3</sup> Voiceオフィスタイプ

